



水しぶきいっぱい (6月19日 プール開き)



として保存して下さい

しでがの通信

第106号

羽津小 P・T・A

編集発行

発行所 羽津小学校



基本的な生活習慣の確立

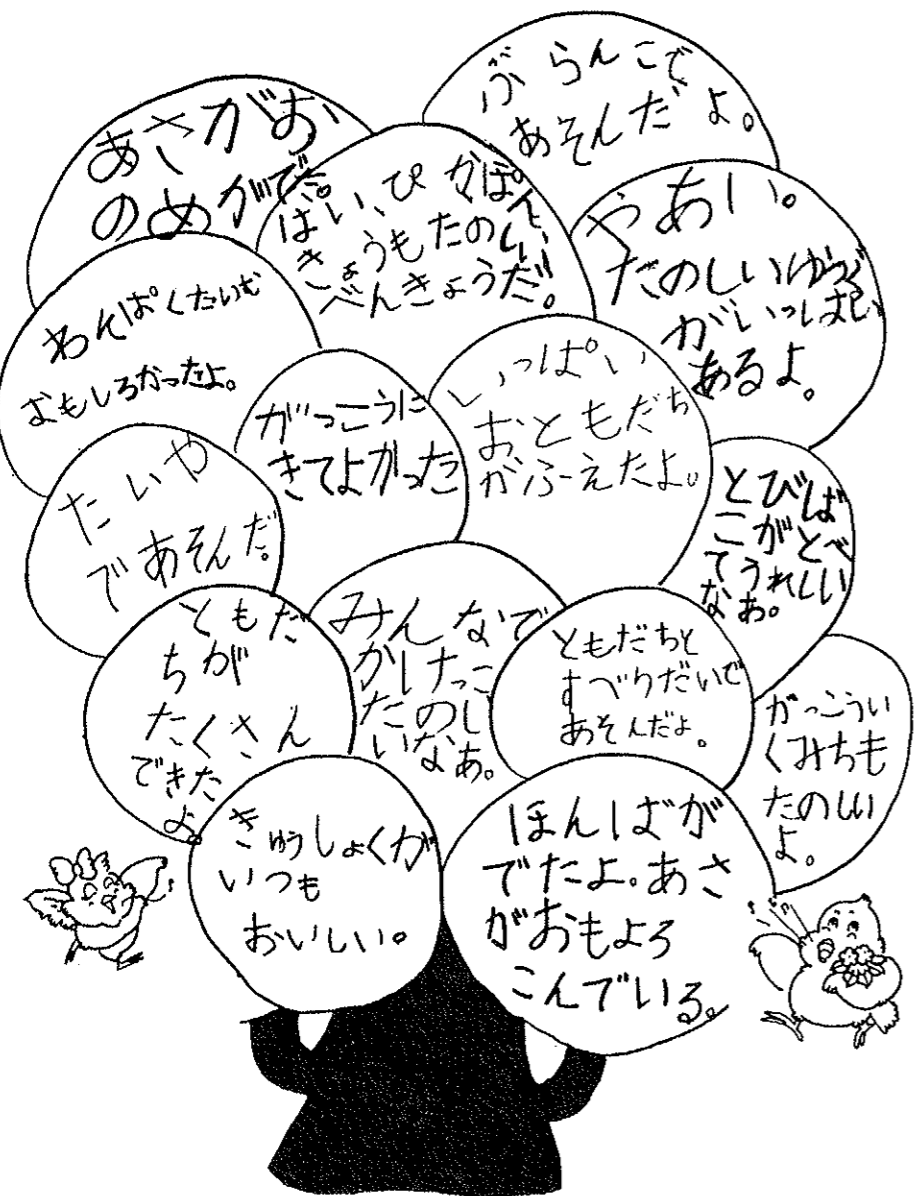
PTA会長 北出賢博

会長挨拶	1
体力づくり推進校として	2
先生紹介	4
修学旅行	6
リレーエッセイ	8
専門部だより	9

先日、三井物産マニラ支店長、若王子氏が無事フィリピン政府に保護された時のニュースは、皆さん未だ御記憶に新しいところですね。救出後の報道会見で彼が言ったのは確かこんな風でした。「異国の地で囚われの身に家族を残したまま絶対に死ねない」私は彼の言葉に人生の全てを語ってくれたような気がします。一つ家族を守らねばと言う責務と愛情さらには感謝、二つ苦境に負けない強い精神、強靱な肉体、三つ前向きに考え行動する心いき、自己啓発心、この三つが今の子供達に必要ではなからうかと考えております。他人を愛せる子、人の痛みが分かる子、いじめをしない子、素直にありがとうが言える子、一生を通じて健康と楽しみを兼ね合わせたスポーツに取り組む子、私は僕は今何をやらねばいいんだらうと前向き

に考える子、以上の三点が生活習慣として身に付けば、きっと楽しい学校生活が送れるんじゃないかと思っております。次の時代を担う子供達の健全育成の為、全員一丸となり、地域社会の応援を得、努力して行きたいと思っております。PTA会員、お一人お一人の御意見、御協力、御指導を心からお願い致します。さて、立哨の問題ですが、廃止して行く方向で取り組んで行きたいと思っております。当然安全の確保が第一です。本年は安全教室も四回とメニューも豊富に計画しております。子供達の安全と自立が養われる日が一日も早く実現出来る様地区の安全協会の方々にも一層の御指導を賜わり、部長以下一生懸命です。学級懇談会、地区懇の席で忌憚のない御意見をお聞かせ下さい。

学校つて楽しいな



長女が入学して、早三ヶ月になろうとしています。友達もたくさんでき、「ただいま」と帰って来ると、急いで宿題と時間割を済ませて「○○ちゃんのところへ行ってくるね」と飛び出して行きます。その慌ただしいこと、とにかく友達と遊ぶことが、楽しくてしかたがない様です。ですから私も、今の時期の彼女の友達関係を、大切に見守ってやりたいと思っています。その中で、喧嘩しながらも、一回りも、二回りも大きく成長してくれることを、望んでいます。

城山 宮田 圭子

新一年生になって

我が子の入学に際しては、勉強や、友達の事など、うまくやっていけるだろうか、うれしさもさることながら、不安でいっぱいでした。そして、2ヶ月が過ぎ、勉強の方も、どうにか人並に來ていると、思われるし、友達も毎日、家まで遊びに來てくれる子もいるなどで不安も、だいぶ柔らぎました。これからも、毎日、元気で、人に迷惑をかけない子に、育ってほしいと思います。

新入学によせて

大宮南横田 正夫

体力づくり

推進校として



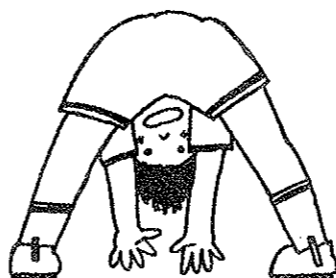
学校長 水谷 義郎

本校から羽津北小学校が創設・分離されたことにより、それまでの過密が緩和されたものの、室内で遊ぶしかなかった習慣はそのまま続いて、休憩時の運動遊びはいつこうにもあがらず、学校生活の中の体育活動の不足が懸念されるようになりました。

それから五年あまり、その間に「体力づくり推進校」の文部省指定を受けたことは、運動面の落ちこみの回復を図ろうとする研究にはずみをつけることになりました。そして、時間がない、場所がない、道具がない、仲間がない、やる気がないの「五ない」の改善に取り組んできました。

ことは、その実践の三年目に当り、指定期間を終了することになりますので、十月二十三日を公開発表の日と定め、四日市内・外の先生方にみていただくことにしました。

げんきなかからだうい



工夫がなされてきました。「子供たちの動きが、見違えるほどよくなった。」と、講評をいただいています。体育用設備の整備充実が目ざましく、保険団体のご援助のたまものと感謝のほかありません。子供たちが自分に適した運動とそそのやり方をみつけ、仲間とともに楽しむ、そのための基礎づくりが主眼で、そういった活動が生産を通して行われることを期待しております。



待ちに待った遠足だ！ (4月21日 伊坂ダムへ)



事務 脇谷 仁美



養護 松田 悦代



6年3組 立松 和紘



6年2組 飯沼 昌子



6年1組 谷口 快爾



さくら組(介) 橋川 記子



さくら組 黒田 義彦



さくら組 近藤 英子

羽津小スタ
=一年間どう



給食(バ) 林 節子



給食 伊藤 廣子



給食 荒木 陽子



給食 白石せき子



用務 時村 孝子



1年1組 鈴木 落子

新しいものへの挑戦を

遊具を相手に遊ぶ子供たちの目は
はぎらぎらしたものを感ずる。ま
さに、遊ぶ「ねうち」を教えてい
るようである。
体力づくり、知恵づくり、情感
づくりの原動力を備えながら、一
つの物語をも作っているようにも
思われてならない。
赴任して二ヶ月余り過ぎてき
たが、新しいものを吸いこむだけ
で精いっぱいである。したがって
回想などは、どんどん消え去って
いくところである。
今、子供たちと共に教師も目的
意識を持って、新しいものへの挑
戦が課せられているが、少しづつ
その挑戦への喜びを感じとれるよ
うになってきた。成長への過程で
もあろう。
子供たちと教師の作り上げてい
く作品は？、心うきうきしながら
朝の通勤のペダルがはずむ。
「古きすてて新しきを知る」と
いうことばだけに定着しながら...



3年2組 鈴木 英子



3年1組 安田 光男



1年3組 前田多寿子



1年2組 五十棲 孝子



教頭先生

ツプー同
ぞよろしく



2年3組 鈴木真理子



2年2組 生川 くみ



2年1組 岸本美智子



専科(理科他) 鈴木 和夫



4年3組 伊藤 恵子



4年2組 坂野 修一



4年1組 齊藤 庄子



専科(音楽) 藤田千香子



専科(家庭他) 田中 朋子



5年3組 森 文子

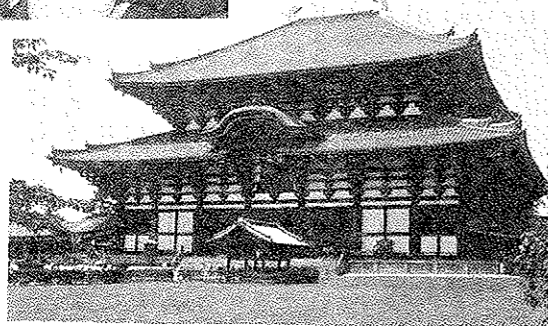
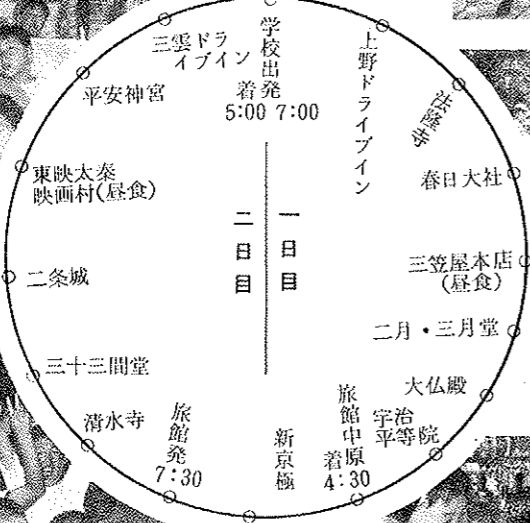
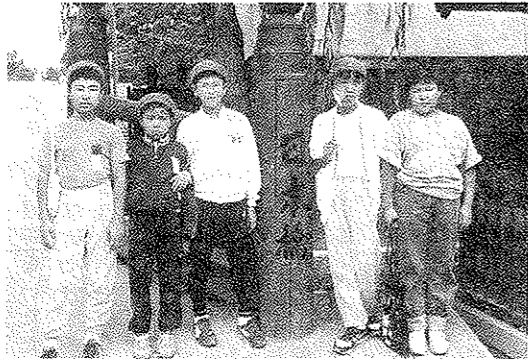
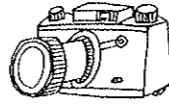


5年2組 大橋 和弘



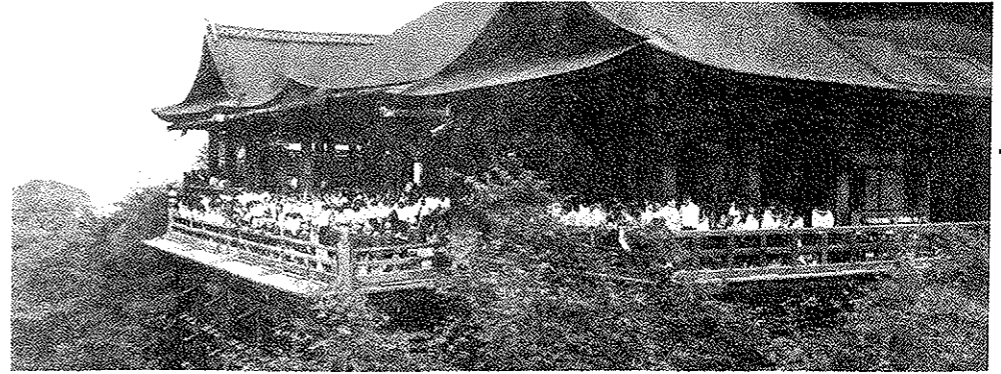
5年1組 杉田 仁司

カメラ・旅



奈良・京都

思い出しがい



楽しかった修学旅行

一組 伊藤 貴正

ぼくは、奈良の大仏がこんなに大きいとは思わなかった。それに旅館、中原がとてましたのしみだった。ついたらとてもきれいだった。新京都では、横ぶえ、ペンダントなどを買った。そして、東映大泉映画村では、手り剣、刀などをかっった。とっても楽しい二日間だった。

千手観音の顔はぼくの顔

二組 杉山 貴史

修学旅行で一番心に残ったのは三十三間堂です。千一体の観音に驚いたのも一つの理由だけれど、「杉山の顔にように似た観音がたくさんある。」と言われ、自分でもおかしくなっからです。

楽しかった枕投げ

三組 山本 剛

修学旅行の時、一番良かったのは旅館ですが。夜、みんなが枕投げをしていた時、ぼくが木刀を見ていたら。友達が枕を投げてきて、「ボキッ！」ともの見事に木刀がおれてしまったのだ。ぼくは思わず笑ってしまったのだ。

はやくすぎた修学旅行

一組 森 三重子

はじめての、修学旅行で、すこしきんちょうしていたが、友達と遊んでいるうちに忘れていた。一番楽しかったところは、ぜったい旅館の中、友達と、話をしたり、トランプなどをして楽しかった。

法隆寺の泣き仏

二組 内山 理絵

私は、法隆寺の泣き仏が心に残りました。泣き仏は、おしゃか様がおなくなりになったところです。弟子達が悲しんで涙をこらえている、そのひとりひとりの表情が印象的でした。

おみやげ

三組 永田 有美

修学旅行での一番の思い出は、新京都の買い物でした。かわいいおみやげ屋さんばかりで、まよってしまいました。家族は新京都で買ったおみやげをとても喜んでくれました。二泊三日だったからよかったのにでも二日間、とっても楽しかった。

夢殿にて

専科 藤田千香子

三十年前、京極や映画村、大仏だけが、強烈な印象として残った自分の修学旅行を思い出す。千三百年前に建てられたこの五重の塔の姿、ひなびた夢殿が、見る人の心に、やすらぎとなぐさめを与えてくれる。幽玄の美をここにみる。そして、すれ違ふ外国の人に、少し誇らしい気持ちにもなる。

この夢殿で聖徳太子は、瞑想にふけり、救世観音に祈ったのであろうか、言葉では言い表わせない静なる興奮が胸の奥にうずまく。ふと我にかえる。メモを手には、説明に耳を傾けているこの子らは「何を感じ、何をみているのだから、きっと、子どもなりに千三百年の歴史をとらえていることだろう」と思いつつ、春日大社へと向った。



リレーエッセイ

昨年より好評をいただいています
先生方のエッセイ、今年も続行
どうぞ、お楽しみに！

中日ドラゴンズ

坂野 修一

私の性格は、どちらかと言うと保守的なかもしれない。
冒頭から固そうな書き出しで、「何が言いたいんだ。」と言われるかもしれないが、実は、私は三十年以上も中日ドラゴンズの熱狂的なファンなのである。
今でこそ、星野監督がどうの、落合がどうのと世間が騒いでいるが、私が物心ついてドラゴンズを応援し始めた頃は、「一番センター中、二番サード岡嶋………」といったメンバーであった。
世間が巨人、大鵬、玉子焼と好きな物を並べていた頃も中日、柏戸、カレイライズで押し通し、中日が万年Bクラスで肩身の狭い頃も必死にラジオを聞きながら応援をしていた。
昭和四十九年だったと思うが、中日が久々に優勝した年は、いつもテレビやラジオの前でとびはね

ていた。奥方はいつも「何がそんなにうれしいのかしら。中日が勝ったって、あなたに賞金が入るわけでもないのに」とあきれ顔。中日ファンの奥方にすればよかった。なんて思ったものだ。
なぜ私がドラキチになったのか確かなことは、わからないが、これから先も、強かろうが弱かろうが、だれに何と言われようが、中日ファンをかたくに続けて行くことだろう。



大中恩氏に会って

飯沼 昌子

数年前、大中恩氏に会う機会に恵まれた。氏は、「椰子の実」の作曲家大中寅二氏の息子さんである。

前任校の校歌を作っていたという方なので、そのいきさつを聞くために出かけたのであるが……氏が、仕事で名古屋に來られるというので、忙しいスケジュールのあい間をぬって時間をつくっていただいた。
作曲家という職業の人は、うっ

うちのチビ

斉藤 庄子

一番後から生まれてきたのに、一番大きな顔をしていばっているチビが一人います。二才三ヶ月になつてやっと会話らしいものができるようになりました。人間らしくなってきたなというのが実感です。生まれてきたばかりの頃は、ふにゃふにゃで、表情もなく、この子は、本当に手を伸ばして物を取ったりすわったりできるのかしらと心配でした。ところが不思議なもので、ある日、突然、手を伸ばしてガラガラを取り、体をささ

えてすわるようになりました。一寸近くになると、早く歩かないかとあせりました。歩けそうなのになかなか最初の一步が踏み出せずやきもきました。歩けば今度は、いつ言葉が話せるようになるかと楽しみました。
子どもは、しっかり手がかり本当にかわいいものです。クラスの子どもたちも、各々、おうちの方々が、しっかり手をかけ、愛情をそそいで、育ててこられたのだと思います。そして、各々、すばらしい力を秘めているのだと思います。その力を出せるように、ゆっくり根気よく援助していかなければならないと思いました。

専門部だより

いろいろな行事が始まっています

欠席するとやらしいワ

学年学級部長 大森 良子

懇談会に対する意識が、「出席する方が恥しい」という考えから、「欠席するのが恥しい」という意識に、PTA会員が作り上げていくように、学年学級部一同、一生懸命討議してゆきたいと思いません。

母親部

- ・月1回 校長先生の御指導による書道教室
- ・研修と親睦とを兼ねた美術館での美術鑑賞(6月19日実施)
- ・市民センター手芸教室の横井先生の御指導による手芸(10月中旬予定)

母親部長 竹内 真理

この度、母親部長をさせて頂くことになりました。何分、始めてのことと十分に、果たせましかどうか分かりませんがよろしくお願い致します。お忙しい事とは存じますが御都合がつかない様でございましたら、行事に御参加下さいませ。又、御意見・御希望があたりでしたら、お知らせ下さいませ。

安全部

- 5月1日 交通少年団 入団式
- 5月20日 交通安全教室
- 5月29日 危険箇所の点検
- 7月中旬 自転車の点検(各家庭で点検)
- 7・8月 プールの監視(夏休み・各町別に行なう)
- 随時 交通少年団 講習(年4回 6月、9月、11月、1月)

安全部長 藤尾 環



五月二十日(水)北警察署安全協会の方々の御指導のもと、安全教室が開かれました。内容は子供の判断で登校でき、事故防止に心掛けるというものでした。今後共交通事故がないように、皆様方の御指導と御協力をお願い致します。



交通安全教室

福祉保健部

部長 益田 一明

福祉保健部では、五月二十三日(インディアカ)を行ないました。当日は、梅雨を思わせるむし暑い中、体育館で全員汗をかきつつ、先生方十四名、父兄二十名の参加者で、土曜日の午後を楽しくすごしました。
今後の行事は、七月に救急実技講習会(日時未定)十月に社会見学を行なう予定ですので、ふるってご参加下さい。



樹木の消毒

補導部

- 5月 万古祭り補導パトロール
- 7月 夏祭り(志氏神社)補導
- 7月 夏休み特別補導パトロール
- 8月 盆踊り補導パトロール
- 10月 秋祭り(志氏神社)補導
- 12月 冬休み特別補導パトロール

今回補導部を担当することになりました。よろしくお願ひします。子供達の心身共に健全な育成をはかるため補導部活動に皆様のより一層のご協力をお願い致します。

補導部長 森 隆司

5月16日 土曜日 午後1時30分より、樹木の消毒、焼却炉の灰処理、焼却炉周辺の清掃等を、行ないました。本校の樹木は、樹齢100年をこえるものが多く、高さも20mになろうとするものもあり、通常の消毒器では、散布不可能のため羽津農協より、特殊ポンプ車をお借りしての作業になります。校長先生のお話によれば、これほど長く生存する木々は、他校には少なく大切に育てたいとの事です。灰処理につきましては、本年より灰を、土のう袋に入れていただくようになり、作業は灰まみれになる事なく、スピーディーに作業する事ができるようになりました。今後、本年度に残る大きな行事は8月23日に予定されております。全員奉仕作業です。暑い時期ですが、学校整備のために、PTA各員様の、御協力をよろしくお願ひします。

環境整備 本年度行事

部長 荒木 良樹

広報部

部長 坂江伊都子

年三回発行
6月、11月、3月、
(予定)
その他随時

行事に参加して

今日の献立は？

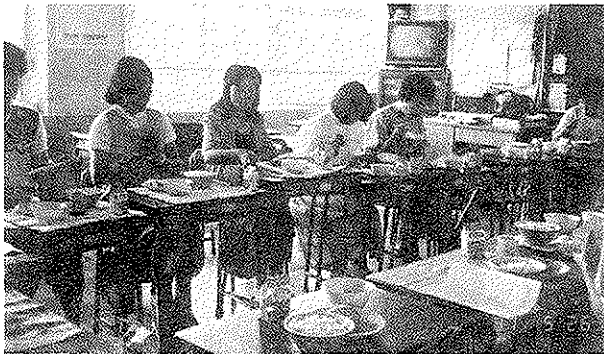
別名 一 天春さつ子

まず、給食参観をして、感じたことは、家で何もしない子供が、学校で一生懸命やっている姿を見て、ほほえましく思いました。試食会、この日の献立は、米飯、

いかに煮付、酢みそあえ、りんご四分の一でした。とてもおいしかったです。おかげがが少ないように思いましたが、毎日の献立表を見るとかなり多い日もあり、栄養面でも考えていただいているので、多い少ないは関係なく、子供が喜んで食べてきてくれることが一番だと思います。

母親部

書道教室開催風景



給食試食会

